FK-08 Fujitsu Experience Day Fukuoka 2026

AI・コンポーザブルで進化し続けるGLOVIA

富士通株式会社
ソリューションアーキテクト事業本部

2026年9月10日

本資料には企画中・開発中の内容が含まれています。
記載内容は将来予告なく変更される場合があります。

© 2026 Fujitsu Limited

AIは使われている。

それでも業務が変わらない理由がある

FUJITSU

現場のリアル

手作業に依存した業務

経費精算やチェック業務など
人手と時間に依存している

部門/データが分断された業務

データや業務がつながらず、
全体の状況が見えない

判断が引き継がれない業務

データは引き継げても、
判断の根拠や意図は伝わらない

AIを使っても業務が変わらない理由

業務の中に組み込まれていない

AIが"分析ツール"として
業務の外で使われている

ルールや判断基準がAIに入っていない

業務ルールや承認は
結局人が判断している

データや業務がつながっていない

横断での判断や
全体最適ができない

個人・部門単位の活用にとどまる

AI活用の取り組みが
組織・業務全体に広がらない

結果として・・・　**気づきはあるが、判断も行動も人に戻る（業務は変わらない）**

この課題に対し、GLOVIA×AIは業務の進み方そのものを変えます

© 2026 Fujitsu Limited

GLOVIA×AI がもたらす提供価値

FUJITSU

業務は「正しく進み、最適に判断され、先回りで対応される」ことで成り立つ
GLOVIAは、この一連の流れをAIでつなぎ続けます

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
（入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保）

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りで対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

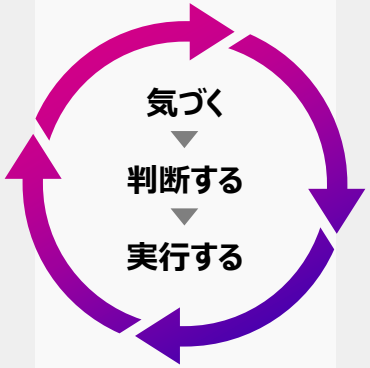
エージェント実行

次の一手を止めない“判断”と“実行”のAI

ChatBI（判断するAI）

- データを横断して可視化・分析
- 論点やリスクを明確化
- 示唆を提示

気づき・洞察を得て、意思決定を支援



AgenticERP（実行するAI）

- 業務ルールに基づき判断
- 必要な処理を自動実行
- 業務フローを自律的に進行

判断を業務に反映し、実行まで自動化

© 2026 Fujitsu Limited

デモパート

FUJITSU

GLOVIA×AIの提供価値を踏まえて、それぞれに紐づくデモシナリオを整備中

デモテーマ No.1

横断チェック業務の自動化

1. 正確性の担保
2. 自社ルールでの妥当性判断
3. 監査・リスクの先回り

デモテーマ No.2

資金繰りリスクの可視化

1. 正確性の担保
2. 自社ルールでの妥当性判断
3. 監査・リスクの先回り

デモテーマ No.3

着地点分析に伴うスピーディな経営判断

4. 意思決定の高度化

© 2026 Fujitsu Limited

デモテーマ❶

業務システム→会計連携＆異常仕訳検知

FUJITSU

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
（入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保）

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りで対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

活用データ

業務システム
売上・仕入・経費情報など

会計システム
仕訳情報

個社規定
異常検知ルール（社内規定、承認ルールなど）

①自動連携・チェック（Agentic ERP）

定期的な異常検知でリスクを早期把握

データ自動連携 ▶ 異常値検知 ▶ リスト作成 ▶ 自動通知

②深掘り・分析（ChatBI）

自然言語で深掘り・論点整理

傾向把握　偏り分析　論点整理

© 2026 Fujitsu Limited

デモテーマ❷

資金繰りを“見える化”し、先回りで資金リスクを制御する

FUJITSU

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
（入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保）

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りで対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

活用データ

- **販売システム**
  受注・仕入/支払予定
- **会計システム**
  入出金/回収情報
- **外部データ**
  与信・評点・口座情報

①状況把握・判断材料の整理（ChatBI）

横断データで資金の見通しを見える化

- 資金残高の推移
- 資金不足リスク
- 遅延傾向の把握

判断材料を
もとに
アクションへ

②実行（Agentic ERP）

通知・判断・資金アクションまで自律実行

- 通知・共有
- 資金移動
- 回収対応

© 2026 Fujitsu Limited

デモテーマ③

着地点分析に伴うスピーディな経営判断

FUJITSU

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
（入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保）

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りで対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

活用データ

- **販売システム**
  受注残・出荷予定など
- **会計システム**
  予算・P/L実績
- **外部データ**
  為替レートなど

月中で着地を予測・分析し、打ち手を提案（ChatBI）

現状把握

今月の着地見込みと未達リスクを即座に確認

- 現時点の営業利益着地は
  予算に対してどうなる？
- 事業別・セグメント別に、
  着地見込みを比較して

原因特定・予測

未達の主因と、先行きの変化要因を深掘り

- 営業利益未達の主因は何？
- 為替が営業利益に与える
  影響を教えて

改善提案

優先すべき打ち手提示、意思決定へつなげる

- 改善効果が最も大きい施策は？
- 売上・粗利・販管費
  どこから改善すべき？

© 2026 Fujitsu Limited

“次の一手”が止まらない、GLOVIAの構造

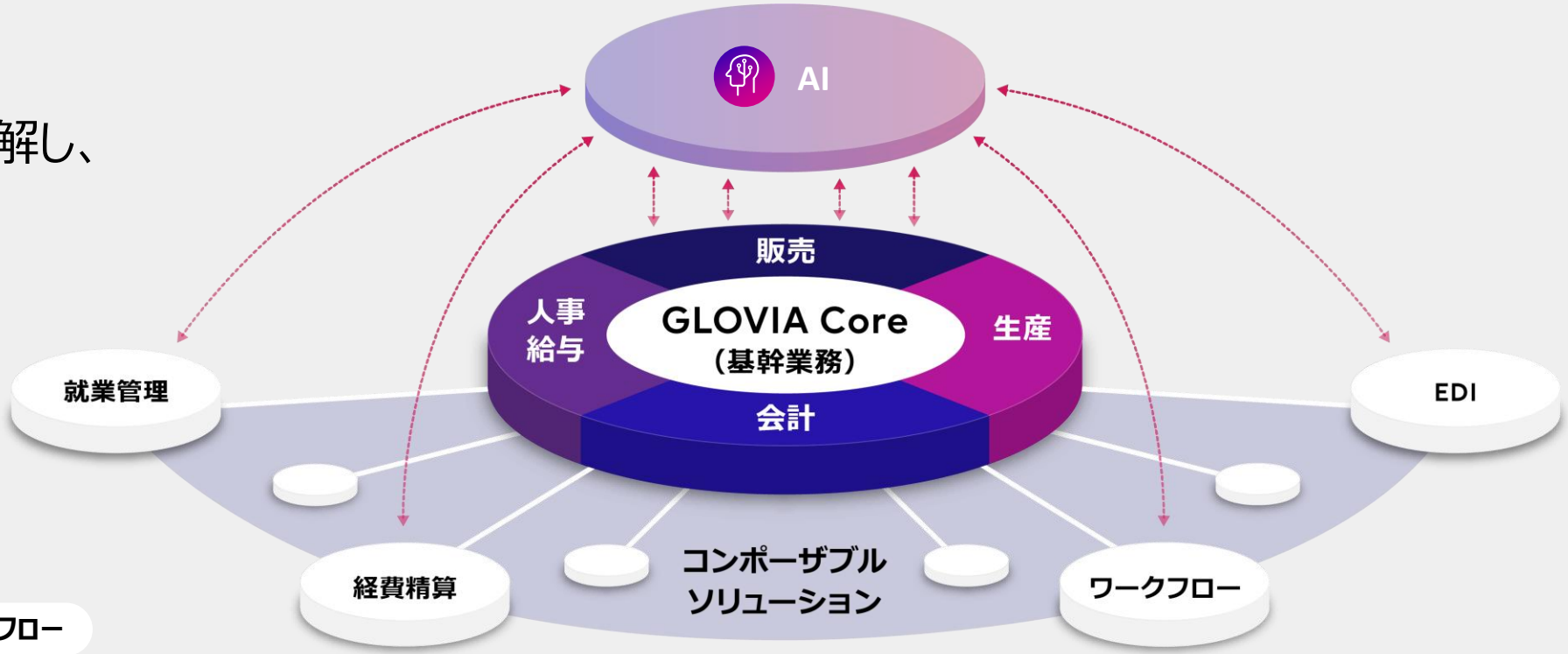
FUJITSU

GLOVIA Oneは、「Core（基幹）× コンポーザブル（エコシステム）× AI」

- Coreで基幹業務を支え、コンポーザブルで業務を柔軟に拡張。そしてAIが判断から実行までをつなぐ。
- 「次の一手」までつながる理由は、“広げ続けられる仕組み”と“業務を理解したAI”にあります。

GLOVIA One

AIが業務ルールとデータを理解し、
可視化・判断・実行



業務ルールを理解したAI

GLOVIA知識　個社ごとの知識　業務フロー

© 2026 Fujitsu Limited

“次の一手”を支える力 ＝ GLOVIAの共進化

FUJITSU

“次の一手”が止まらない理由は、業務を理解するAIと、進化し続ける仕組みにあります

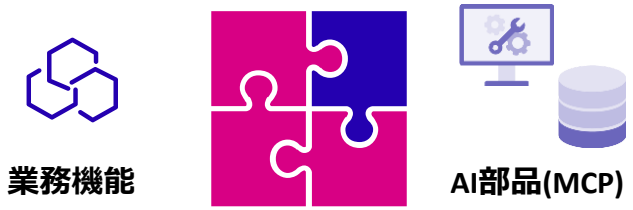
1 業務を理解したAI
富士通の知見がAIを強くする

GLOVIAの業務知見

会社規定/判断ロジック

- 日本企業の業務・商習慣に長年向き合ってきた知見をAIに組み込み
- 各社固有の運用規定や業務フローも理解したAI

2 変化に合わせて広がる仕組み
コンポーザブルで柔軟に拡張



- コンポーザブルソリューションにより、業務機能を柔軟に組み合わせ
- 変化に合わせて広げていける仕組み（MCP）

3 自社で進化し続けられるプラットフォーム
共に作り、育て、進化する

- あらかじめ用意された業務・連携部品をベースに自社専用のAIを簡単に構築
- 導入して終わりではなく、使い続けるほど進化

理解する → 広がる → 進化する

現場の変化と経営の判断が循環し、成長に向けた進化が続く状態＝GLOVIAで実現する、ビジネスの共進化

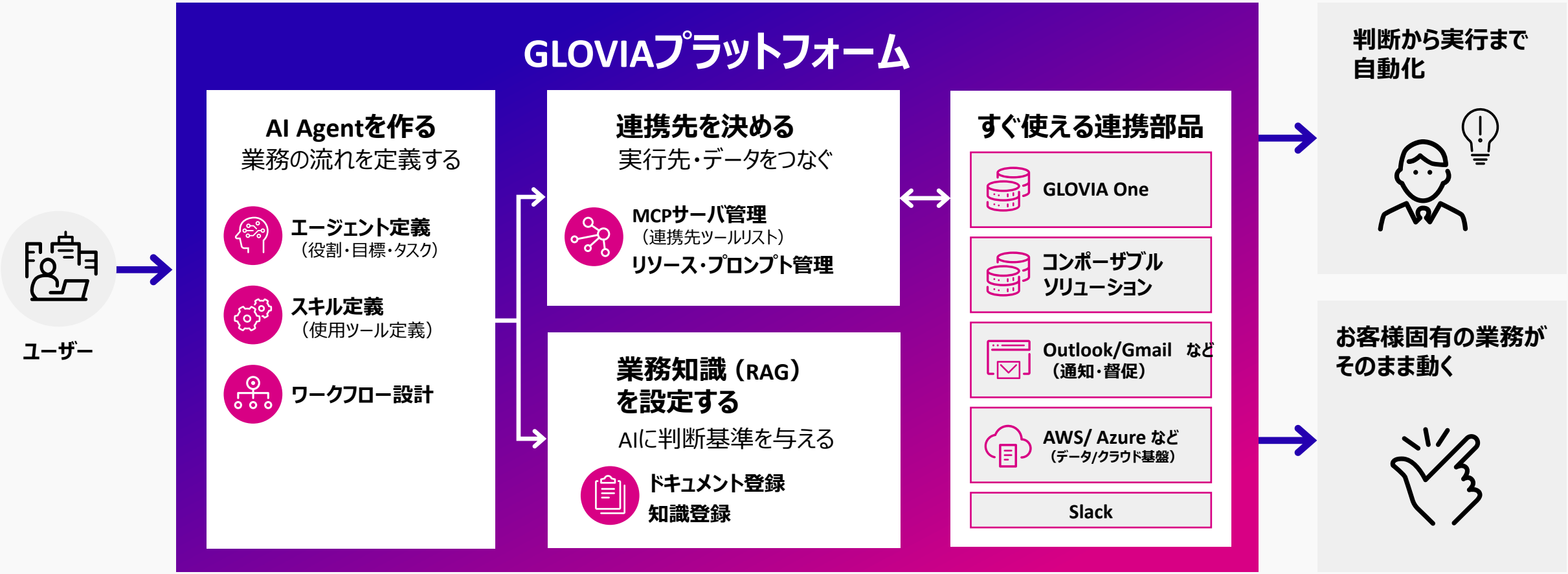
だから、GLOVIAは“次の一手”を止めない

© 2026 Fujitsu Limited

「自分たちの業務に合わせられる」

GLOVIA Oneの“共進化プラットフォーム”

お客様ごとに、業務は異なります。だから、自分たちの業務にあったもの簡単に使える仕組みが必要。
GLOVIA One はお客様固有の業務プロセスに合わせて、「簡単」に「最適化」できる仕組みです。



© 2026 Fujitsu Limited

すぐに使えるアセットで、業務にAIを広げていける

FUJITSU

すべてをゼロから作る必要はありません。
GLOVIAでは、業務で使える部品やテンプレートがあらかじめ用意されています。

準備されているアセット

ChatBI

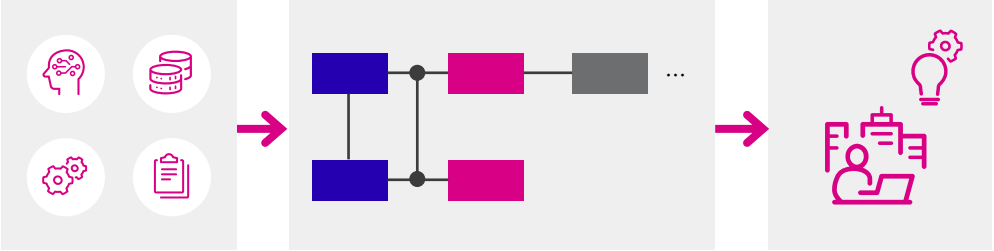
- 予実分析 テンプレート
- KPI分析 テンプレート
- 人事分析 テンプレート

AgenticERP

- Agent Skill テンプレート（・ログイン ・データ抽出 ・マスタ登録）
- RAG情報（GLOVIA標準）
- MCP（GLOVIA/コンポーザブル/外部サービス）

お客様による組み込み・設定

- 自社の業務フローにあわせてアセットを組み換え
- 自社の社内規定/業務ルールの設定



AI活用を個別最適で終わらせない。業務全体にAIを浸透させ、進化し続ける

© 2026 Fujitsu Limited

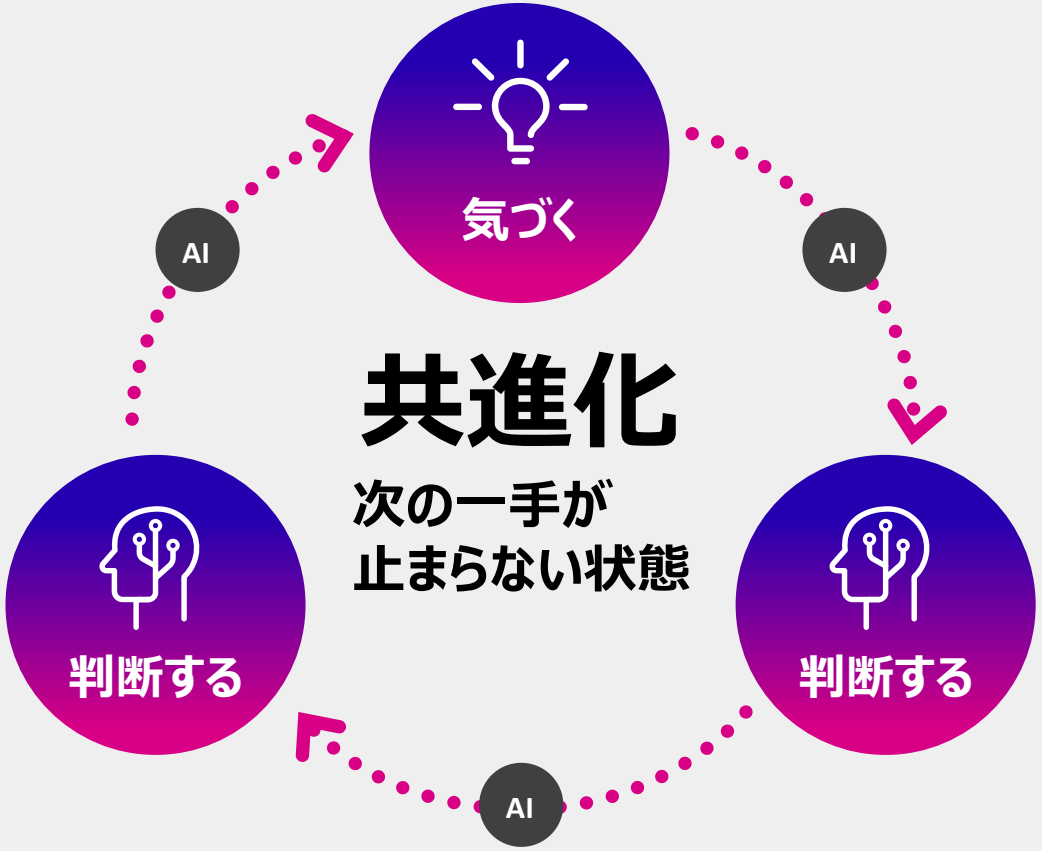
共に作り、育て、進化する

それが、GLOVIAの共進化

GLOVIA One プラットフォームは、業務とAIを一体化し、
「気づく → 判断する → 実行する」を業務の中で循環させ続けることで、進化し続ける業務を実現します。

お客様

自らの業務に合わせて
広げて・育て・進化させる



富士通

お客様の成功に向けて
ともに考え、育て続ける

© 2026 Fujitsu Limited

お問合せ先

本資料をご覧いただきありがとうございました。

ご不明な点や詳細なご相談、ご紹介した内容に関するお問い合わせは、
以下までお気軽にご連絡ください。

FJ-GLOVIAOne商談問合せ <fj-gloviaone_request@dl.jp.fujitsu.com>

© 2026 Fujitsu Limited

Thank You

© 2026 Fujitsu Limited